

ENERGY STAR 画像機器

バージョン 2.0 基準改定

協議項目

2011 年 3 月

課題 1： 省エネルギー試算を改善し、改定基準値の決定を支援するために、EPA は、対象製品であるが現在非適合のモデルにまで、EPA のデータを拡大することを目指す。EPA は、2011 年 4 月 1 日までに受け取った、本協議書類に添付されているデータ入力票を使用した完全なデータについて考慮する予定である。

課題 2： EPA は、スキャナおよびファクシミリそれぞれの最高および最低の市場占有率について、またこれら 2 機種の世界において ENERGY STAR ラベルが差別化をもたらしているかについて、意見を求める。ファクシミリおよびスキャナの市況に関する資料を提供してほしい。(欧州連合の Energy Using Product (EuP) 指令 Lot4 の要件を満たすための業界自主協定 (Industry Voluntary Agreement) の最新草案には、スキャナが含まれていないことに留意すること。) EPA は、これら製品を引き続き ENERGY STAR ラベルの対象にしておくべきかについて、パートナーの意見を得たいと考えている。

課題 3： EPA は、非適合ファクシミリモデルの特性と、広く適合を促す方法について、意見を求める。

課題 4： EPA は、現在画像機器基準の対象に含まれている機器の種類について、また省エネルギーの可能性が低い対象から除外することを検討すべき機器について、追加意見を歓迎する。

課題 5： EPA は、小判形式の高性能 IJ プリンタの現在および将来的な普及率について意見を求め、製品性能試験データの提供を歓迎する。

課題 6： EPA は、インパクト MFD の現在および将来的な普及率について意見を求め、製品性能試験データの提供を歓迎する。

課題 7： EPA は、本基準の対象に追加すべき、大幅な省エネルギーの可能性を有する画像機器製品について意見を求める。(例：プロ用の写真「ミニラボ」)

課題 8： EPA は、ENERGY STAR 画像機器試験方法に IEC 62301 第 2.0 版を取り入れることについて、関係者からの意見を歓迎する。

課題 9： EPA は、現行製品における、カラー文字文書および全ページカラー画像などのカラープリントの普及率に関するデータを歓迎する。また EPA は、画像機器の絶対的および相対的な消費電力量に対する、文字および画像のカラー印刷による影響についてデータを求める。

課題 10： EPA は、カラー印刷の消費電力量に対する影響がその使用頻度に起因することから、カラー印刷とモノクロ印刷の利用率についてデータを求める。

課題 11： EPA は、測定開始前に電力緩衝装置 (Power Buffer) にドラム暖機運転用のエネルギーを蓄積する方法の普及率、および当該製品の消費電力量に対するあらゆる影響について、意見を求める。

課題 12： EPA は、TEC 製品の消費電力量に対するプリントドライバ設定の影響、およびこの潜在的な試験のばらつき要因を排除する方法について、意見を求める。

課題 13： EPA は、TEC および OM の試験方法に対する追加変更の提案を歓迎する。

課題 14： EPA は、TEC 試験方法のための、より代表的な利用想定の下付けに使用することができる意見とデータを歓迎する。特に EPA は、設置した画像機器全数におけるプリント枚数や各種のモード時間を記録している、管理印刷業務に携わる製造事業者からのデータを高く評価する。

課題 15： EPA は、稼働 1 の時間と稼働 0 の時間の明らかな違い、またこの違いを排除することができる試験方法の明確な説明について、意見を歓迎する。

課題 16： 更に EPA は、稼働 1 の時間と稼働 0 の時間に対する同様の測定を、OM 試験方法に含めることについて、意見を歓迎する。

課題 17： EPA は、復帰時間要件を規定することによる消費電力量の低減を証明するために、パートナーから裏付けデータの提供を受けたいと考えている。

課題 18： EPA は、DFE 消費電力量の最も適切な対処方法について、意見を歓迎する。

課題 19： EPA は、試験中は 1 つのネットワーク／データ接続のみを使用することについて、意見を歓迎する。

課題 20： EPA は、試験中に有効な状態にあるネットワーク接続の種類を、望ましい順（例：USB、イーサネット、WiFi、他の有線接続、他の無線接続等）に規定することについて、意見を歓迎する。これらは、（インターフェースが利用可能な場合において、機器を当該ネットワークに接続することという指示を除いて）現在規定されていない。

課題 21： EPA は、（被試験製品の消費電力量に影響を与える可能性のある）試験中のネットワーク接続状態を規定することについて、意見を歓迎する。

課題 22： EPA は、一般的な使用実態をより適切に表すために、ファクシミリ機能が存在する場合には、試験中は有効状態であり電話線に接続しているように規定することについて、意見を歓迎する。

課題 23： EPA は、TEC 製品に関してスリープへの初期設定移行時間を測定および／または規定することについて、意見を歓迎する。

課題 24： EPA は、画像機器がエネルギー高効率イーサネット（Energy Efficient Ethernet）に対応する場合には、試験中に画像機器に接続されるネットワーク装置がエネルギー高効率イーサネット対応であることを求めることについて、意見を歓迎する。

課題 25： EPA は、稼働モードが長時間にわたる一部の OM 製品（例：レシートプリンタ、業務用インクジェットプリンタ等）に対して、TEC 試験方法またはオンモード測定を適用することについて、意見を歓迎する。

課題 26： EPA は、画像機器のライフサイクルにおける高 GHG 排出に関する情報と裏付けデータについて、明確な説明を求める。EPA は、ライフサイクル分析（LCA）の結果を含め、関係者が画像機器のライフサイクルを通じた影響に関して実施したあらゆる調査について、関係者からの意見を歓迎する。